



第2次つくば市生涯学習推進基本計画 概要版

計画策定の趣旨

1. 策定の目的

今日、我が国では国際化、情報化、科学技術の急速な進展、少子・高齢化の進行など、社会・経済情勢が急速に変化しています。私たち一人一人が人生の各段階で多様な目的を持った学びを得られるよう、生涯を通じた学習機会の提供や家庭・地域の教育力の強化などの「生涯学習社会」の実現に向けた取組が求められています。

つくば市では、平成5年に「つくば市生涯学習推進大綱」を、平成15年にはその改訂版となる「つくば発一ゆとり伝心 つくば市生涯学習推進大綱」を策定するとともに、生涯学習関連事業を体系的かつ効率よく推進するため、平成18年に「生涯学習推進基本計画」を策定し、平成27年度を目標年度とする10カ年計画を推進してきました。

計画の最終年度を迎えることから、これまでの取組を検証し、昨今の社会情勢や市民要望の変化に対応した、生涯学習推進に向けての新たな「生涯学習推進基本計画」を策定します。あわせて、今回の計画は市民ニーズや社会・経済情勢に柔軟に対応できるよう5カ年計画とします

2. 計画の期間

この計画は、平成28年度から32年度の5カ年の計画です。平成31年度にアンケート調査を行い、翌32年度にかけて次期計画を策定します。なお、進行管理により計画年度の途中においても必要に応じて見直しを図るものとします。

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37
	第1次計画										第2次 つくば市生涯学習 推進基本計画					(第3次計画)				
●生涯学習に係る 市民意識調査					★									★						★
●つくば市民意識調査 (隔年実施)						★		★		★		★		★		★		★		★
●交流センター利用者 アンケート(毎年度実施)										★										★

計画の基本的考え方

1. 基本理念

人と人，地域と地域，知識と知識，過去と未来など様々なものを有機的に「つなぐ」こと，その相互作用から新たな価値や更なる学びを「つむぐ」ことを目指し，第2次つくば市生涯学習推進基本計画の理念を

生涯学習で つなぐ つむぐ つくば

と設定します。

2. 基本方針

基本理念を実現するための基本方針として，つくば市の生涯学習は（1）市民の自主性・主体性の尊重，（2）市民と行政のパートナーシップ，（3）地域の歴史・文化の継承と創造，（4）多様な主体とのネットワーク，の4つを定め，「つなぐ つむぐ つくば」の実践に取り組みます。

（1）市民の自主性・主体性の尊重

個人や地域住民の自立に向けた意識（自助）を高める

（2）市民と行政のパートナーシップ

協働による地域づくりの実践（共助）にむすびつける

（3）地域の歴史・文化の継承と創造

地域資源を掘り出し活用することで更なる新たな価値を創造する

（4）多様な主体とのネットワーク

庁内の関係各課はもとより，大学や研究機関，民間団体等との連携・協働を推進しネットワークを構築する

3. 施策の柱

本計画を推進するための施策の柱を以下のとおり設定します。

(1) 個人の自立に向けた学習機会の提供

年代やライフスタイルに応じた多様な学習要望に対応するとともに、一方的な知識の伝達にとどまらず、その成果が自己実現や社会への還元など、「生きる力」となり具体的な実践につなげていけるような学習機会の提供を進めます。

(2) 生涯学習環境の整備

新たに学習を始めたい人や身につけた知識や技術を活かした人同士をつなぎ、知の循環型社会を構築するため、学習に関する情報提供や相談、指導者の育成など生涯学習環境の整備を進めます。

(3) 生涯学習関連施設の充実

市民が自発的に集い学び、仲間と交流し、成果を発表したり新しい知識・芸術文化にふれあえる場として、身近で気軽に利用できる生涯学習関連施設の充実を進めます。

(4) 絆づくりと地域づくりに向けた学習機会の提供

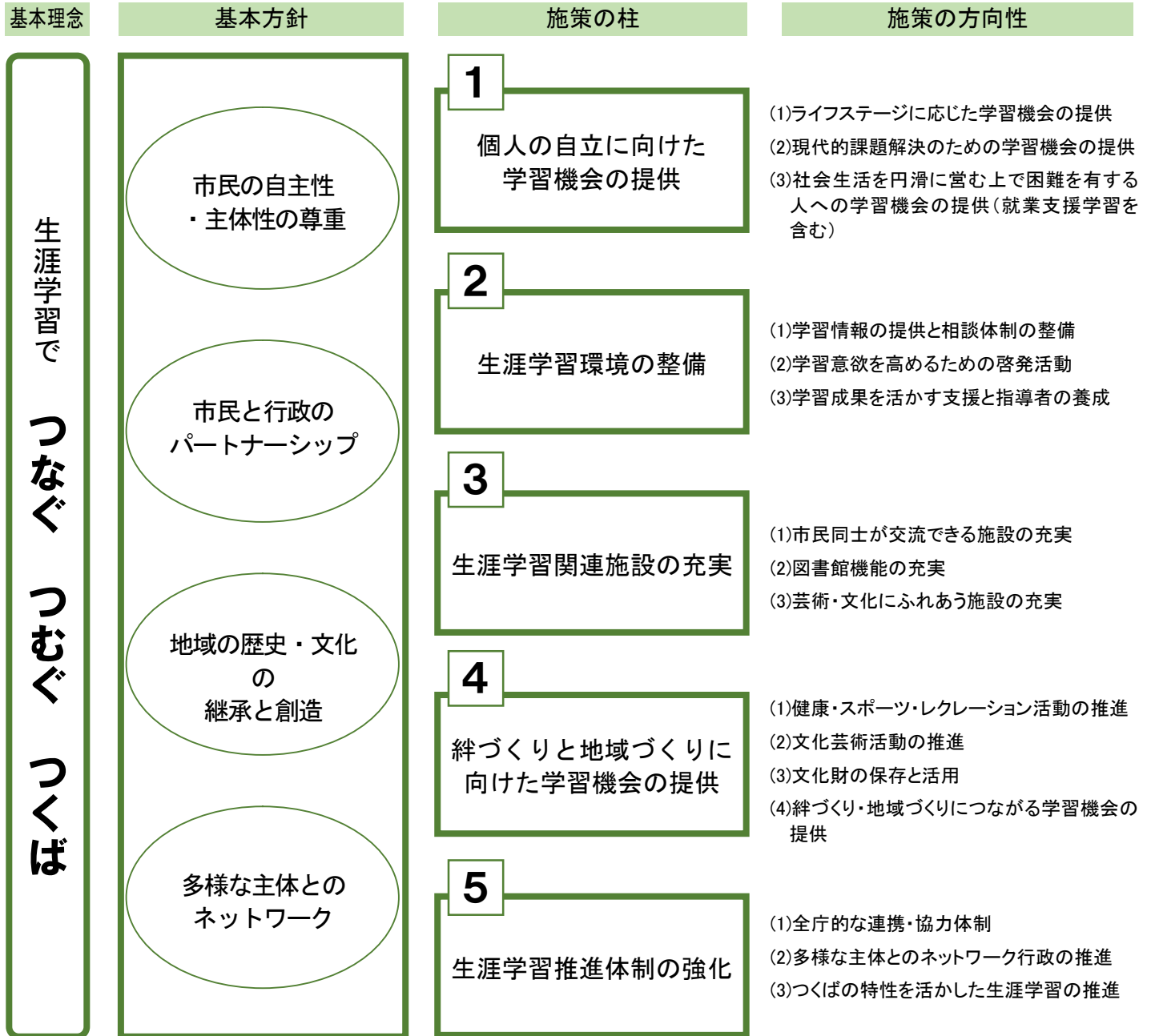
スポーツやレクリエーション、芸術活動の振興、文化財保護や歴史・文化の継承などを通じて、人と人、地域と地域が結びつき、ともに成長していけるような学習機会の提供を進めます。

(5) 生涯学習推進体制の強化

生涯学習推進本部を中心とした市内取組体制の強化や、つくば市のもつ特色や資源（研究機関、大学、外国人など）との連携や協働の推進など、市内だけでなく全市を挙げて生涯学習を推進する体制づくりを進めます。

4. 施策の体系

つくば市生涯学習推進基本計画の施策の体系は以下のとおりとします。



まちづくりの理念・将来都市像の実現に貢献

つくば市未来構想

まちづくりの理念「人を育み、みんなで支えあうまち」

将来都市像「住んでみたいまち 住み続けたいまち」

計画の推進

1. 重点事業

本計画に掲げた事業のうち、5年間に優先的に推進すべきものとして、以下の項目を重点事業として定め、着実な達成を図ります。

●ライフステージに応じた学習機会の提供

子育て世代に対して、親としての成長を応援し、子育てへの自信や対処能力を持たせることができるような学習機会や講座を充実するとともに、つくば市子ども・子育て支援プランと連動した地域全体での子育て支援を推進します。

これからのつくば市を支えていく青少年に対し、居場所づくりや自主的な活動への支援体制を充実するとともに、つくば市教育振興基本計画（つくば市教育振興プラン）等と連動して、自然体験、ボランティア活動体験、国際交流体験等の様々な体験活動を推進します。

現代社会に対応した職業に関する学習内容の充実を図るとともに、学習成果が実際の就職や転職といったキャリアアップに結びつくようなプログラムの開発や学びやすい講座の設定、サポート体制づくりを検討します。

高齢者がいつまでも元気でいきいきと地域社会と関わり暮らしていけるよう、生涯学習の振興による高齢者の生きがい対策を推進します。

●学習成果を活かす支援と指導者の養成

市民が充実した学習や活動を行うために、その活動を様々な面から支援する豊富な知識や経験を持った人材を発掘・確保し、生涯学習の指導者として養成します。また、学習成果を適切に評価し、学習者の意欲を更に高めていけるよう、学習成果の発表の場の充実や地域社会へ還元するシステムを構築します。

●市民同士が交流できる施設の充実

市民の主体的な学習を支援する身近な生涯学習施設として、地域交流センター等の整備・活用を進めます。

●絆づくりと地域づくりにつながる学習機会の提供

一人一人の学習成果をお互いで共有し、よりよい地域づくりにつなげられるよう、研修や自主サークル活動などの支援や学習機会の提供を行います。

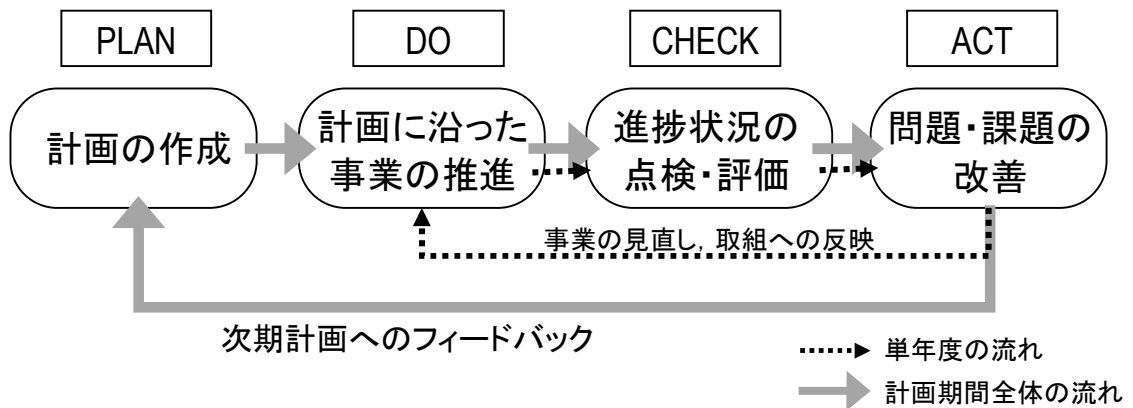
●多様な主体とのネットワーク行政の推進

生涯学習とは、生涯の各期における学習を生活全域にわたって継続して行う学習であることから、社会教育施設だけにとどまらず、身近な地域社会における民間を含めた既存施設を有効活用するため、あらゆる学習資源とのネットワークを構築しながら推進します。

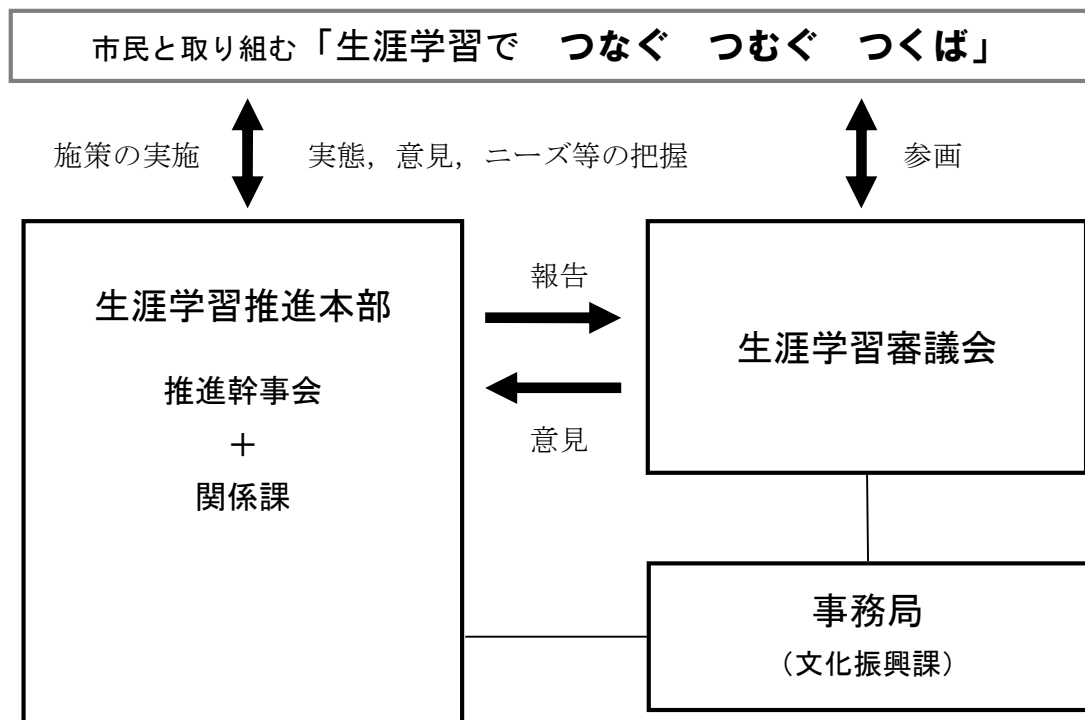
2. 計画の進行管理と推進体制

計画の進行管理にあたっては、事業の進捗を評価する『事務事業評価』（毎年度実施）に加え、施策の柱の取組に対する市民の意識や取組の変化をみる『成果指標による評価』（おおむね4年後）を実施します。

また、達成する成果を指標としたP D C Aサイクル（計画－実施－評価－改善検討）による改善を図ってまいります。



計画の推進体制は以下の通りです。



【関係課】※平成27年度現在

ひと・まち連携課、広報広聴課、シティプロモーション室、東京事務所、人事課、企画・国際課、科学技術・特区推進課、ジオパーク推進室、市民活動課、男女共同参画室、消費生活センター、スポーツ振興課、文化振興課、環境都市推進課、危機管理課、社会福祉課、障害福祉課、高齢福祉課、こども課、介護保険課、地域包括支援課、農業課、産業振興課、観光物産課、都市計画課、公園・施設課、教育総務課、学務課、教育施設課、教育指導課、総合教育研究所、文化財課、中央図書館